

2016年3月期 株主通信

富士ダイス通信

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<http://www.fujidie.co.jp/>

証券コード:6167



2015年6月25日、東京証券取引所市場第2部に上場いたしました。

ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2015年6月25日に東京証券取引所市場第2部へ新規株式上場いたしました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。ここに、上場初年度である2016年3月期の株主通信をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年6月



代表取締役社長 西嶋 守男

■ 当期の概況

当期における我が国の経済は、円安・株高傾向を背景に企業収益は緩やかな回復基調にありました。一方、世界経済は、米国の成長鈍化や中国をはじめとする新興国の景気減速、為替や原油価格動向等のリスクがあり、不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社の国内販売は概ね堅調だったものの、海外販売で一部の大口顧客の生産計画の下方修正、および中国を中心とするアジア新興国での売上減少により、連結売上高は計画を下回りました。また、利益面でも減収による影響と、一部高採算品の粗利益率の低下により減益になりました。

■ 来期の見込み

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済の牽引役である米国経済の成長鈍化や中国や他の新興国の景気減速等、当面の間は先行き不透明な状況が続くものと予想しています。

来期の市場動向について当社の顧客産業分類別に概観しますと、輸送用機械、電機・電子部品、および金型・工具向け素材の分野において、当期比で増収を見込んでいます。売上高の回復と併せて収益力の拡大への注力により、利益面では当期比2桁の増益を計画しています。

■ 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	2016年3月期	前期比	2017年3月期予想	当期比
売上高	16,060	△ 1.2%	16,571	3.2%
営業利益	963	△ 11.5%	1,086	12.8%
経常利益	959	△ 15.2%	1,145	19.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	732	△ 4.5%	827	12.9%

配当方針

利益の状況、将来の事業展開などを総合的に判断し、適切な利益配分を行うことを基本方針としております。今後は、経営成績および財政状況を勘案した上で、配当性向50%を目処に利益還元を行っていく予定です。

期末配当
22円

次期配当
(予想)
21円

数字でひもとく富士ダイスの強み

超硬耐摩耗工具メーカー 国内**1**位

当社は、創業以来、超硬耐摩耗工具の製造に経営資源を集中してきました。塑性加工に立脚した設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで、世界最高水準の技術力による一貫生産体制でお客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供しており、超硬耐摩耗工具業界では長期に亘り国内トップシェアを堅持しています。



競争力の源泉となる **3**つの力

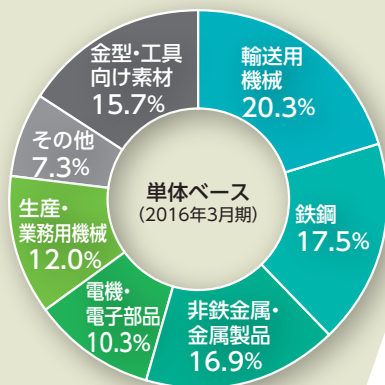
お客様と緊密な関係を保つために、業界最大の約100名の営業員を擁する直接販売による営業力。高度な粉末冶金技術(※用語解説を参照)による豊富な素材開発実績。熟練した技能者集団と最新鋭の加工設備による高い生産技術力。これら3つの力の総和によって、お客様の要望にタイムリーに対応し、最適なソリューションを提案することで高い競争力を実現しています。



富士ダイスは、超硬耐摩耗工具の国内トップ企業です

取引先は **約3,000社**

当社の超精密、高精度、高品質な超硬製品は、高層ビルや光通信などのインフラ設備から、輸送用機械、コンピューター、医療機器、家電製品、生活用品に至るまで、非常に広範な産業分野におけるパーツ製造に利用されています。このように、永年のモノづくりの安全と信頼を支えて築いた取引社数は約3千社に上ります。



創業から現在まで **67**年間黒字経営

創業以来、大きな景気変動や経済危機等の発生時においても赤字なし。67年間に亘って黒字経営を継続しています。さらに、高い自己資本比率に加えて潤沢な手元資金を保有しており、極めて堅固な財務基盤を維持しています。

堅固な財務基盤に加え、潤沢な手元資金

- 純資産173億円
- 自己資本比率73.5%
- ネットキャッシュ62億円

圧倒的な技術力を生かし 持続的成長を目指す

持続的な成長を目指すための3つの成長戦略

1. 業務の効率化による 収益率の向上

- 国内製造部門における生産特性を考慮した製品、拠点の集約、再構築
- 生産の自動化や省人化などの生産工程の効率化

2. 海外売上の拡大

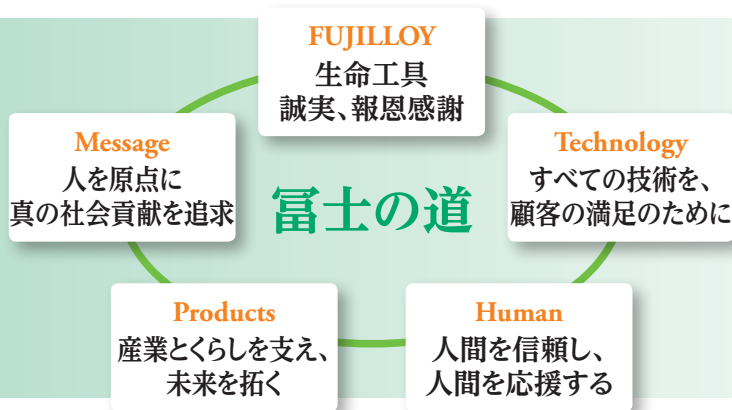
- 自動車部品メーカー向け拡販に注力
- 高付加価値製品の販売増加

3. 成長分野への注力

- 粉末冶金技術を駆使した新材料の研究開発を強化し、耐摩耗工具以外へ進出
- 高精度かつ超精密加工技術に関する研究開発を進展させ、新しい産業分野を開拓

富士ダイスは、メイドインジャパンを支える東京都大田区発の技能集団として、より質の高い顧客奉仕の実践を追求し続けてきました。お客様に求められる高精度の超硬工具・金型づくりの技術と品質は、「人」の質によって決まると言っても過言ではありません。このことを踏まえて、当社では「人」を企業の原点として、人間尊重、人間中心の経営によって、真の社会貢献の実現を目指しています。

【経営理念】人間尊重、幸せな人を育てる



富士ダイスのこれまでのあゆみ

創業期 1949年～1970年	拡大期 1971年～1991年	安定成長期 1992年～現在
1949年 北九州戸畑にて、富士ダイス製作所設立、創業	1975年 HIP(熱間静水圧プレス)導入により素材の超精密化を実現	2003年 タイ子会社設立
1953年 東京工場建設	1978年 岡山製造所建設	2004年 中国(上海)子会社設立
1954年 自社製超硬合金の焼結開始	1982年 郡山製造所建設	2010年 インドネシア子会社設立
1956年 富士ダイス株式会社となる	1982年 バインダーレス超硬合金の開発	2012年 インド子会社設立
1957年 本社を東京へ移転	1987年 熊本製造所建設	2012年 マレーシア子会社設立
	1990年 ガラスレンズ成形用の製造技術の実用化	2015年 東京証券取引所・市場第二部上場

\おしえて/
富士ダイス

富士ダイスが答える

超硬合金

富士ダイスは、超硬耐摩耗工具、金型のリーディングカンパニーです。

当社WEBサイトの
ご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

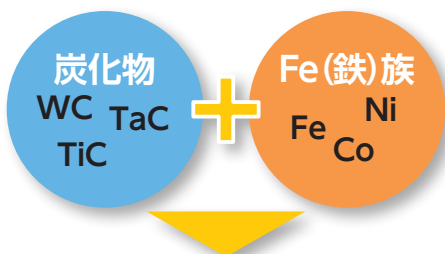
富士ダイス 検索

www.fujidie.co.jp/

\おしえて/
富士ダイス

1

超硬合金とは？



超硬合金
WC-Co

金属と炭化物を組み合わせた非常に硬く強い材料です。

超硬合金は非常に硬くて耐熱性の高い、炭化タングステン(WC)、炭化チタン(TiC)、炭化タンタル(TaC)等9種類の炭化物を粘り強さの大きいFe族である鉄(Fe)やコバルト(Co)、ニッケル(Ni)で結合した合金を指します。一般的には炭化タングステンとコバルトを主成分としたWC-Co系合金を超硬合金と呼び、これらは粉末冶金法で製造されます。超硬合金の硬度は鉄やステンレスを凌ぎ、ダイヤモンド、サファイヤ、セラミック等に次ぐ硬度を誇ります。

\おしえて/
富士ダイス

2

超硬合金を使用した工具の メリットは？

耐摩耗性に優れ、生産性改善に寄与します。

超硬合金を用いた耐摩耗工具は、一般的に用いられる鋼製の工具等よりも摩耗、変形しにくいいため、生産工程に効果的に用いることにより、被加工材を加工する速度や精度が向上し、生産性改善が可能となります。また、工具自体の寿命が長くなるため、メンテナンスの回数が減り、工具を使用した機械の稼働率が高まります。稼働率が高まることでエネルギー効率においても貢献できる結果、実は環境面にもやさしい工具と言えます。

メリット

- 寸法精度の向上
- 製品の外観向上
- 耐摩耗に優れる
- 搭載機械の稼働率向上
- 環境配慮にも優れる

用語
解説

粉末冶金法 (Powder Metallurgy)

金属粉の製造、または金属粉を所定の形状および寸法(粒度)に調製し、さらに焼結工程によって製品を製造する技術。

ダイス・プラグ

線材、棒、パイプは引抜きをすることで作られ、それに使われる工具がダイス・プラグです。外径を決めるのをダイス、内径を決めるのをプラグといいます。

\おしえて/
富士ダイス

3

超硬耐摩耗工具=生命工具?

高度な粉末冶金技術により、
工具、金型を製造しています。

富士ダイスは、超硬耐摩耗工具のトップメーカーです。モノづくりにおいて、材料や機械や人間がすべて揃っていても、工具の出来次第(精度)でお客様の製品そのものの命(品質)が決まってしまう。当社では、超硬耐摩耗工具のことを「生命工具」と呼び、この大きな責任を自覚しながら、常に世界最高水準の技術力をもって、お客様のニーズに応え続けています。



\おしえて/
富士ダイス

4

富士ダイスの 超硬工具や金型は どこで使われている?



ダイス・プラグ



鍛造用金型



自動車生産の過程において、富士ダイスの工具・金型が
20種類以上も使われている!

輸送用機器や鉄鋼、精密機器など
その技術は幅広く活用されています。

富士ダイスの取引先は約3,000社。現在は国内だけでなく海外にも進出し、特定の系列に属さない独立系企業として様々な業界、企業問わず製造、販売を行っています。

生産は一貫した受注生産をとっており、顧客の様々なオーダーに応じています。たとえば、自動車をはじめとする輸送機器や、精密機器など耐摩耗性や高精度を要求される金型、工具など、当社製品は幅広い産業分野で活躍しています。



その他部品生産用工具・金型

鍛造用金型

金属の素材に高い圧力を加えて、塑性(力を加えて変形させた時に、変形したままの元に戻らない性質)流動させて成形するための金型です。

その他部品生産用工具・金型

多様な部品を生産するための、成形工具、板金用金型、抜き・絞り金型、圧粉成形金型、カッター刃他の工具・金型。

コーポレートデータ

■ 連結決算データ

(単位:百万円)

	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月(予想)
売上高	14,637	15,041	16,251	16,060	16,571
営業利益	698	1,020	1,088	963	1,086
経常利益	811	1,088	1,130	959	1,145
親会社株主に帰属する当期純利益	578	732	767	732	827
1株当たり当期純利益(円)	30.13	38.13	38.65	36.63	41.37
総資産	22,118	22,725	24,383	23,633	
純資産	15,916	16,710	17,306	17,376	

■ 会社概要

社名 富士ダイス株式会社
 創業 1949年6月6日
 本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 資本金 164百万円
 拠点 営業所・出張所17 主要生産拠点8
 グループ会社 国内2社 海外5社
 従業員 1,059人(2016年3月期末、連結)

■ 役員一覧

代表取締役社長	西嶋 守男	社外取締役	本多 實
常務取締役	井出 剛	社外取締役	澤井 英久
取締役	久保井 恒之	常勤監査役	宮川 弘
取締役	千葉 理彦	社外監査役	岸田 一男
取締役	渡邊 祥司	社外監査役	大森 実
取締役	多田 隈 豊		
取締役	春田 善和		

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 株主確定基準日 毎年3月31日
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
 株式の売買単位 100株
 証券コード 6167
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第2部
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 三菱UFJ信託銀行各支店においてもお取次ぎいたします。

公告方法 電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <http://www.fujidie.co.jp/>

■ IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算	
	● 招集通知										● 期末配当基準日
				● 定時株主総会							
				● 株主通信							

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 TEL:03-3759-7181 <http://www.fujidie.co.jp/>

